

マーケットの動き (2026年5月18日～5月22日)

先週の国内株式市場は、前週末比で上昇しました。

週前半は、インフレ懸念から米長期金利が上昇したことを背景に、国内長期金利も上昇したことで、株式の相対的な割高感が意識され、売りが先行して株価は軟調に推移しました。週後半は、米国とイランの戦闘終結期待の高まりによる金利低下や米ハイテク株高などを受け、AI・半導体関連銘柄への買いが再燃し、22日に日経平均株価は最高値を更新しました。

投資環境見通し (2026年5月)

国内株式相場は底堅く推移

企業業績については、2026年度の業績見通しに対する中東情勢を巡る不透明感や原油価格高騰の影響度が注目されます。

中東からの原油依存度が高い経済構造から原油価格の高止まりの影響が懸念されますが、アジア全般のハイテク産業の堅調な業績を背景とする海外投資家による資本流入に加え、季節的な自社株買いも期待されます。国内株式相場は中東情勢や原油価格の動向の影響を受けつつも、鎮静化に向かう場面では底堅く推移するとみています。

	5月22日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
TOPIX (東証株価指数)	3,892.46	0.74%	3.94%	18.03%	43.26%
日経平均株価	63,339.07	3.14%	6.30%	30.26%	71.25%

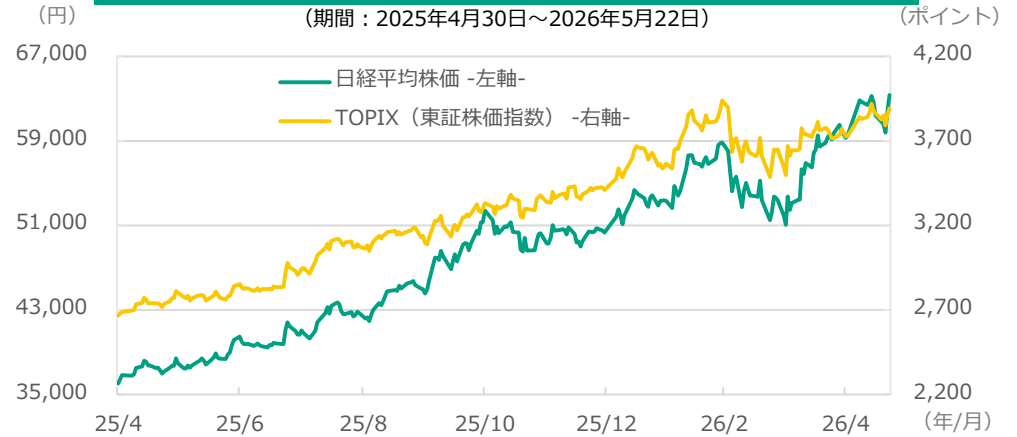
※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日(休日の場合は前営業日)までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

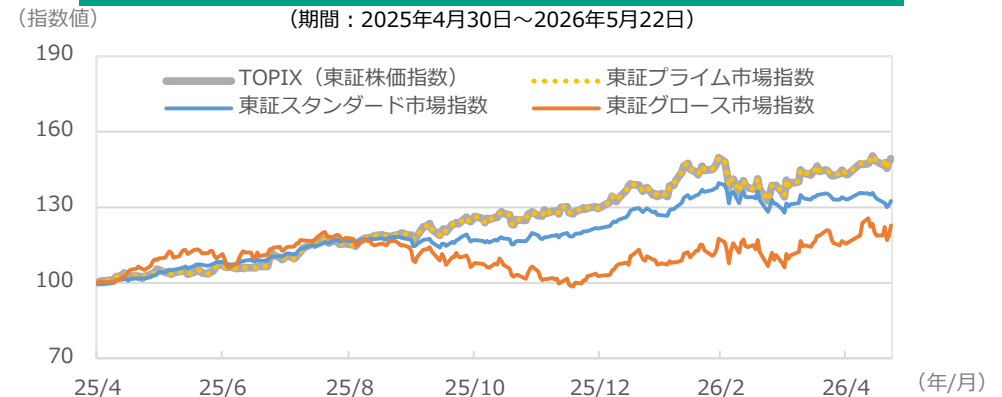
https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202605_outlook.pdf

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>

日経平均株価、TOPIXの推移



東証市場別指数の推移



※2025年4月30日の値を100として指数化

※出所：FactSetのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成